

特別号・19年度前期



学校だより(学校評価報告)

学校評価のご協力ありがとうございました

～ 学校・家庭・地域と共に子どもを育むために～

19年度前期の学校評価アンケートにご協力いただき有難うございました。

特に、保護者の皆様には全家庭の約94%という多くの皆様から回答を頂き、その一枚一枚全てに目を通させていただけました。

また同時に、自由記述欄にお書きいただきました皆様方からのご意見には、学校の取組や教職員の姿勢、子たちの姿から高く評価していただいた内容と同時に改善点を指摘していただいた内容などがありましたが、そのお声の一つ一つにつきましては全教職員が目を通させていただき、真摯に受け止めて今後の本校教育活動の充実・発展に繋げていくように活用させていただきたいと考えておりますのでご了承をお願い致します。

19年度の学校評価(前期)の集計結果をお知らせします。

今回は、保護者・地域・教職員・児童を対象にいくつかの項目では、受け止めの比較ができるように設問を考え、また、前回18年度(後期)の結果とも比較しながらそこから見えてくるものを探っていくことによって課題を明らかにし、今後の学校の取組に生かしていきたいと考えております。

「4」あてはまる 「3」ややあてはまる
「2」あまりあてはまらない 「1」あてはまらない
「0」無回答

1. 学校生活

①「子どもは楽しい学校生活を送っていると思われませんか」(保護者)
「学校は楽しいですか」(児童)
「子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう状況把握に努めている」(教職員)

保護者(498名)	児童(665名)	教職員(26名)
「4」75%	「4」62%	「4」69%
「3」23%	「3」28%	「3」31%
「2」2%	「2」7%	「2」0%
「1」0%	「1」3%	「1」0%
「0」0%	「0」0%	「0」0%

学校生活の面では、児童も保護者も「4」「3」の評価が多数を占めました。前回の結果と比較しても「おおむね学校生活を楽しんでいる」と言えそうです。しかし、保護者の2%、児童の10%は、「学校生活が楽しい」とは感じていないのです。「学校が楽しい」ということが教育活動を進めていくうえで大前提となりますが、教職員が子どもの思いや表情などをきめ細かく観察し、気になる場合には積極的に声をかけながら、子どもが「ワクワク」とする期待感や充実感を持つような取組を実践していく必要があると受け止めます。

2. 学習

②子どもに基礎基本の学力がついていると思われませんか（保護者）
 勉強はわかりますか（児童）
 子どもに基礎基本の学力をつけきることを大切にして指導に当たっている（教職員）

保護者	児童	教職員
「4」 44%	「4」 45%	「4」 50%
「3」 48%	「3」 45%	「3」 50%
「2」 6%	「2」 8%	「2」 0%
「1」 1%	「1」 2%	「1」 0%
「0」 1%	「0」 0%	「0」 0%

③子どもに分かりやすい授業を進めていると思われませんか（保護者）
 子どもに分かりやすい授業を進めることができた（教職員）

保護者	教職員
「4」 56%	「4」 23%
「3」 38%	「3」 73%
「2」 3%	「2」 4%
「1」 0%	「1」 0%
「0」 3%	「0」 0%

では教職員の100%が「4」「3」の評価です。しかし、児童の10%、保護者の7%が勉強したことが十分に理解できていないと回答しています。

また、の分かりやすい授業を進めるという点では、保護者・教職員とも「4」「3」が95%前後ですが、保護者の3%教職員の4%が、まだ不十分であると回答しています。

②③の結果から、教職員は児童に学力をつけきることを大切にして指導しているつもりが、結果としては、1割の子どもが「わかった」という実感が持てていない状況を深く受け止めたいと思います。その上で、引き続き指導した内容が全ての子どもに届くよう授業の工夫改善と学習した内容の点検にさらに努力したいと考えます。



3. 人権教育

④学校は一人一人の人権を大切にした教育活動を行っていると思われませんか(保護者)
 先生は一人一人を大切にしてくれていますか(児童)
 日々の実践で、子ども一人一人を大切にしよう努力している(教職員)

保護者	児童	教職員
「4」52%	「4」60%	「4」69%
「3」40%	「3」30%	「3」31%
「2」3%	「2」6%	「2」0%
「1」0%	「1」4%	「1」0%
「0」5%	「0」0%	「0」0%

保護者・児童の9割以上が「4」「3」と回答されていて、大切にされていると受け止めていただいている一方、約1割の児童が大切にされているという実感を持ちえていないことを重く受け止めたいと思います。

児童一人一人を大切にすることは、本校教育活動の根幹に関わる問題であるとの認識の下、全ての児童が大切にされているという実感が持てるよう児童としっかり向き合ったきめの細かい取組をさらに進めていきたいと考えます。

4. 家庭生活

子どもは家庭で学校のことや友だちのことを話していますか(保護者)
 お家の人と学校のことや友だちのことを話していますか(児童)

保護者	児童
「4」55%	「4」50%
「3」31%	「3」32%
「2」12%	「2」12%
「1」2%	「1」6%
「0」0%	「0」0%

5. 基本的生活習慣

家庭で、子どもに挨拶・早寝・早起き・朝ごはんの習慣を大事にされていますか(保護者)
 自分からあいさつができていますか(児童)
 子どもたちはあいさつをしていますか(地域)
 子どもが挨拶できるように常に自分も心がけていますか(教職員)

保護者	児童	地域	教職員
「4」56%	「4」48%	「4」61%	「4」73%
「3」36%	「3」34%	「3」33%	「3」27%
「2」7%	「2」14%	「2」6%	「2」0%
「1」1%	「1」4%	「1」0%	「1」0%
「0」0%	「0」0%	「0」0%	「0」0%

挨拶や早寝・早起き・朝ごはんなど基本的な生活習慣は、子どもたちの学習活動や意欲を支える源です。特に朝のスタートがその日の頑張りを左右する場合も往々にしてあるように感じています。

特に、子どもたちもあいさつに対する意識が高まってきており、伴って地域の方の評価も前回より高くなってきています。

みんなで協力して、子どもたちには必ずつけたい力です

6. 特性・個性の伸張

学校は子どもの持つ良さや可能性を引き出そうと努力している（保護者）
 自分でがんばっていることがありますか（児童）
 子どもの良さや可能性を引き出し、伸ばすように努めている（教職員）

保護者	児童	教職員
「4」 45%	「4」 64%	「4」 42%
「3」 45%	「3」 25%	「3」 58%
「2」 5%	「2」 8%	「2」 0%
「1」 1%	「1」 3%	「1」 0%
「0」 4%	「0」 0%	「0」 0%

子どもたちには機会あるごとに、「自分の目標を持とう」「毎日続けることが大きな力になる」ということを話しています。

したがって学校は可能な限り様々な刺激や機会などの「場」作りに努力をしています。

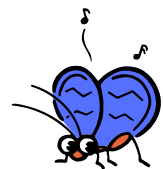
今後とも、子どもたちの個性・特性を引き出し様々な経験やチャレンジができる機会を充実していきたいと考えております。

保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

7. 情報発信

学校は取組や様子を分かりやすく伝える工夫や努力をしている（保護者）
 学校は取組や様子を分かりやすく伝える工夫や努力をしている（地域）
 「学級通信」や「週予定表」などで、学校や子どもの様子を分かりやすく伝えるようにしている。（教職員）

保護者	地域	教職員
「4」 56%	「4」 77%	「4」 54%
「3」 37%	「3」 6%	「3」 25%
「2」 5%	「2」 0%	「2」 21%
「1」 0%	「1」 0%	「1」 0%
「0」 2%	「0」 17%	「0」 0%



こうした学校評価の結果も含め、学校の様子を校内だけに止めず、子どもたちの様子や学校の取組について保護者をはじめ地域の人たちにも知っていただくことで、幅広い視野から子どもの可能性・経験・社会性を高め、人と人とのつながりを大切にして地域ぐるみで子どもを育てていきたいと考えています。

